

# 第18回高知県木の文化賞

木の文化を実践している人たちの部

株式会社土佐組子



高知県

## 団体の概要



組子細工は、小さな木片を組み込んで製作する日本の伝統工芸技術の一つです。起源は飛鳥時代と言われており、法隆寺の金堂にある組子細工が日本最古のものと言われています。

高知県では、高知城の懐徳館の組子欄間が有名ですが、その他住宅としては吉良川町の伝統的建造物保存地区内の建物の障子や欄間の建具装飾として多く見られます。

しかしながら現在の新築住宅においてはほとんど製作されることがなくなっており、さらに高知県内の組子細工職人は数人となっています。

そのような情勢の中、社長の岩本氏は高校卒業後、建具製作技能士を取得。その後宮城県にて伝統的建具技法および、組子細工の修行後、2011年に帰郷。2016年株式会社土佐組子設立し、組子を伝統工芸品だけではなく、現代の生活に合わせた商品開発を企画、制作、販売。また伝統文化普及活動として、建築士会等でのワークショップや、全国高等学校総合文化祭等への協力などを行っています。

## 選 評

- ・日本の伝統工芸技術にデザイン力を加え、世界に向けて発信する努力を行っている点が評価できる。
- ・小物から耐力壁の製作に至るまで伝統工芸技術を幅広く取り入れることで、木の持つ可能性を広げている点が評価できる。

